



現在	1,993
世帯数	4,787
人口	2,353
男	2,434
女	

空港の増便に神林はどう対処 空港対策委員会 第2回総会開く

2月2日神林地区空港対策委員会を令和3年度第2回総会を公民館で16人が出席し、空港の増便に神林はどう対処するかとの協議をしました。



最初に昨年7月29日に行われた和田・神林・笹賀・井地区空港対策委員会での協議結果の説明を受けた後、飛行機の運航に關しての件で、平成元年6月24日付けで地元と締結した協定書の改定ではなく事前協議を必要とする松本空港整備事業に關する5項目で、状況の

変化から現況と乖離がみられる発言から

(1) 空港を利用する全ての航空機に關し、「前年度の離着陸回数に比し、新規の路線拡充等によりチャーター小型機の状況や当分の間20便の枠を許可するものについて1月7日

事前協議されずに追認形式になってしまっている」などの意見が3件出ました。また、「将来的に福岡、国際便など増便が予想されるがこのまま

で良いのか」との発言もあり。あくまで事前協議が必要との集約に絞られました。

(2) ヘリコプターを含む民間の飛行については、極力住宅地の上空及び低空飛行を避けるよう要請を徹底していく。

地元要望に関することでは 空港周辺環境整備として新たに地元との協議を多くし膝を交えて県・市と話し合い、要望を地区と速やかに調整

（協議）を行い、誠実に実施するものとする。とまとめられ百瀬委員長は「今回の協議を踏まえ、時代の趨勢に鑑みて再度4地区で確認し合いたい」と熱っぽく話された。

前段の事前協議することとして掲げられた5項目とは

- ① 定期便に關すること
- ② 臨時に運行するチャーター便以外は、全て定期便扱いとするものであること。
- ③ 空港施設に關すること
- ④ 空港内及び空港周辺に關する訓練に關すること
- ⑤ 飛行機の運航に關すること

ア 空港を利用する全ての飛行機に對し、新規の飛行（離着陸）及び現行の飛行回数が大幅に増すことが予想される場合は、事前協議を要するものであること

イ ヘリコプターを含む民間機の飛行に關してのこと。この確認事項は協定書を補完するものであり、長野県・松本市は、地元4地区に對し誠意を持って真摯に對応するものとし、事前協議が必要なものは合意するまで実行できないものとする。

この文書から今回の総会で討議されました。



学校応援団 募集中!!

松本市では平成二十年度から学校応援団事業を展開している。地域と歩む開かれた学校づくりと地域住民の生きがいとして学校をサポートし、特色ある地域づくりを目標に掲げる。具体的には地区公民館がコーディネート役を担い、地域の皆さんの協力を得て支援を実施している。学校応援団について、菅野小学校・井坪秀明校長、二子小学校・大和正秀校長にお聞きした。

— 学校応援団の活動について

井坪校長 毎年公民館から応募していただいた方に学校活動や授業にて指導や補助をいただいております。今年度は大豆づくりや花づくり、学校行事でのお手伝い、授業の講師などをご支援いただきました。

大和校長 今年度はクラブ活動の講師や補助、豆腐作りの指導、読み聞かせの実演などのご支援をいただきました。

— 学校応援団の課題について

井坪校長 学校の活動の中でもっと多くの場面でご支援いただければよかったですと思います。

大和校長 地域の皆さんへの発信が足りないと思います。ちょっとしたお手伝いで良いので気軽に

ご支援いただけたらと思います。

— 地域二期待panel

井坪校長 地域の皆さんにもっと学校のことを知ってほしい。皆さんがどのような学校になってほしいという希望や学校と地域の願いが共有できるようになれば良いと思います。学校応援団として地域の皆さんが学校の授業や活動にご参加いただくことは皆さんに学校を知っていただく良い機会です。ご支援いただけた内容は専門的知識がなくても大丈夫なので気軽にご応募いただければ有難いです。

大和校長 学校には地域での役割があると思います。地域と共に歩み、地域を元気にしたい。子どもたちには人の役に立てて良かった、交流してよかったという体験をしてほしい。学校が支援いただくだけでなく、地域で困っている人の支援を学校が行うような活動ができればいいと思います。

地域の皆様にも身近な学校になれるように思います。



コロナ禍の 高校生活

高校の現場では、日ごと交互に、半分の生徒が登校し対面授業受け、残りの生徒は自宅でオンライン授業を受ける形で対応を取った。また、生徒全員が自宅でのオンライン授業を受ける形での対応を取った学校もある。実際に高校生の感想を聞くと、「とにかく登下校しなくて良いので体が楽です。」「宿題などをやる時間がちゃんととれるのはオンライン授業のいいところだと思います。」「全体的に家で勉強する時は授業が終わってから自主勉強にすぐに繋がるから良い。」など話してくれた。一方で、「学校で授業を受ける方がわかりやすい。」「授業で画面をずっと見ていると目が痛くなって集中できないので、早く登校したいです。」「学校で受けるより全然出来なかった。」「オンライン授業初日は学校行く時と同じくらい早く起きて準備ができていたけど、だんだん遅くなった。生活リズムを崩さないように努力したいです。」などの声も多くあがった。臨時休業や分散登校で落ち着いた学校生活を送ることが困難な状況の中、生徒たちは奮闘していた。

神林さんの人あり！ 11

田中一利さん(川西町会)

田中一利さんは、安協神林支部長として平成17年から13年間その役を務め、この間4度の表彰を受け交通栄誉賞である「緑十字銅賞」も受けています。また平成26年には統計調査関係で阿部知事からも表彰を受けています。交通事故を1件でもなくすため役員たちと、地区内や環状高家線で起きた交通

神林さんの人あり！ 12

デジタルカメラを駆使
原和明さん(寺家町会)

居間に下伊那遠山郷の山岳風景写真が飾られていた。その写真に魅せられての37年前の事でその後、山岳写真家穂刈貞夫氏。大型カメラを赤沼淳夫氏に師事。



1983年信州遠山郷の山岳風景に魅せられ写真の世界に。日本山岳写真協会の副会長だった2002年から生涯学習教育や公民館の写真講座講師として地域における写真技

事故のマップを作成し、それを各家庭や学校等あるいは他地区に配布できたことが一番印象に残ること。また松本市内の交通死亡事故の「事故マップ」をつくりそれを、市内各地の安協支部に配布しました。また忙しい合間を縫って、仏像の製作もしました。師匠は自分の爺さんであり小さいころからその製作する姿を見てきました。昨年神林展示会でその仏像を展示しました。他の

術の社会貢献を目指し活動し、2007年に設立された長野県風景写真家協会でも毎年開催している「学ぶ写真展」の企画・運営を担って来られた。

座右の銘「人との出会いを大切に 風景との出会いを楽しみに」

ふるさとの木曾谷をはじめ、北アルプス、上高地、安曇野、美ヶ原高原、志賀高原、柵池など県内各地の風景を撮影、撮影した画像は、カレンダー、ポスター、パンフレット、参考書、雑誌の表紙の写真として企業等に提供している。1996年から大型カメラ、2007年からデジタルカメラを使用している写真家で「数撮っても年間で気に入った写真は5〜6

点です」と笑顔。

キーワードはなに？

本紙神林版の記事内にキーワードの文字が散りばめられています。見つけて言葉にしてください。わかった方は神林公民館に備え付けの用紙に必要事項を記入してご応募ください。アンケートにお答えいただいた正解者の中から抽選で5名に500円分の図書カードをプレゼント！締切は4月28日(木)、当選発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。多数のご応募お待ちしております！

【前回の答え】 **とうきおりんびっく**

【今回のキーワード】 ○○○○○○○○

展示会には出したことが無く初めて出し、製作には8年ほどかかっています。最初は仏像ではなく小さなテールプルやイス、人形などを作りました。仏像の木は東北大地震後お米や衣類を届けた関係で知り合った知人から送ってもらった流木で製作しています。

鎖川

最近では写真を撮る場合にスマートフォンを使用する。昔はコンパクトカメラをカバンに入れ持ち歩いたが、技術の進歩はめざましく、スマートフォンのみで、手軽に綺麗な写真が撮影できる。総務省の令和3年版情報通信白書によると、情報通信機器の世帯保有率は携帯電話やスマートフォンなどのモバイル端末では、9割を超えている。その中でも、スマートフォンは8割以上の世帯で保有している。また利用については世代間格差が見られ、特に70歳以上の高齢者の利用率が低いとの結果だった。私も詐欺被害等のトラブルに遭うのではないかと不安な事と使い方がわからず電話とカメラしか使用していない。昨年末に神林公民館主催のスマホ教室を取材すると、やはり同様にどのように使えばよいかわからない方が多く参加していた。松本市ではDX推進本部がスマホ体験講座を、神林公民館でもスマホ教室が開催されている。コロナ感染拡大で活動は休止中ですが、自粛中に頭を柔らかくして新しいものにチャレンジしようと思います。